

紛争地ガザ地区 2019年
しかしここにも日常があり、
普通の人々が暮らしている
私たちの知らないガザの人々の素顔。



©Canada Productions Inc., Real Films Ltd.



ワールド・ドキュメンタリー上映&感想会

ガザ 素顔の日常 92分

2025年

7月13日(日) **要申込**

開場 10:00 / 開演 10:30

- 会場：文化情報センター DIC21
- 定員：48人※未就学児はご遠慮ください。
- 料金：500円(当日支払い)
- 申込：5月6日(振休・火)から
(アクロスへ電話・来館で予約受付)

上映終了後に30分程度の感想会を実施します。(参加自由)

【お問合せ先】

大東市立生涯学習センター **アクロス**

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内
※住道駅南側高層マンション内

【TEL】072-869-6505 【FAX】072-870-1405 【E-mail】info@daito-across.jp

【開館時間】午前9時～午後10時 【休館日】毎月第2木曜日 【HP】「大東アクロス」で検索

【お願い】文化情報センターには専用の駐輪スペースがございません。ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

ガザ 素顔の日常 あらすじ



©Canada Productions Inc., Real Films Ltd.

あなたはガザ地区と聞けば、どんな場所をイメージするだろうか？「世界で最も危険な場所」「紛争地」「ミサイル」「戦車」など危険な戦争のイメージを思い浮かべるのではないだろうか？そんなあなたはこの映画で全く違うガザの一面を発見することだろう。

穏やかで美しい地中海に面しているガザの気候は温暖で、花やイチゴの名産地。若者たちはサーフィンに興じ、ビーチには老若男女が訪れる。海辺のカフェの飛び切りハイテンションな店主に朝会えば、間違いなく誰もが幸せな一日を過ごすはずだ。他にもタクシー内で歌う人々やあふれる想いを叫ぶ若いラッパーに、妻が3人、子どもが40人いる漁師のおじいちゃんなどが登場する。こんな個性豊かなガザの人々にきっと魅了されるに違いない。

しかし現実には過酷だ。東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザの住民の約7割が難民で貧困にあえいでいる。イスラエルはガザを壁で取り囲むのみならず、2007年以後は物資や人の移動も制限する封鎖政策を続けており、陸も海も空も自由が奪われたガザは「天井のない監獄」と呼ばれる。

2014年と2018年の戦争では、多数の学校、病院、家屋、発電所などが破壊され、多くの命も失われるなど、ここには命の保証もない。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる。「欲しいのは平和と普通の生活」。ガザの人々は普通の暮らしを今日も夢見ている。(92分)



感想会について

ワールドドキュメンタリーでは、上映終了後に感想を話し合う「感想会」を実施いたします！参加自由で、他の方の感想を聞いてみただけでも大丈夫なので、お気軽にご参加ください。

感想会ルール

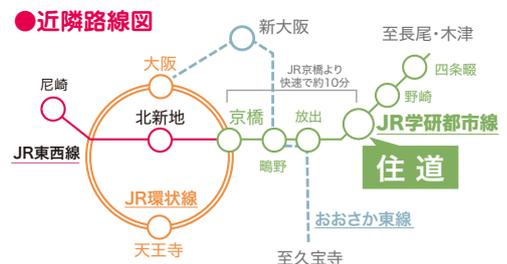
- ①何を感じたか、自由にお話しをする会です。
 - ②ほかの人の感想を否定する発言をしないようにお願いいたします。
- ※スタッフの指示に従っていただけない場合は、ご退場いただく可能性があります。

★ご来場のお客様へ、お願いとご案内★

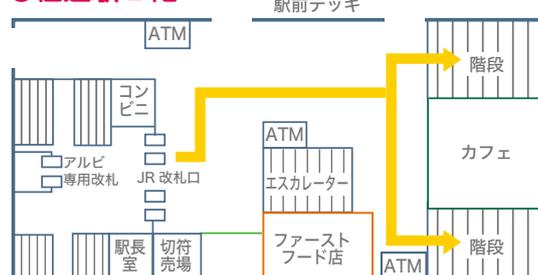
当センターイベント参加時には感染症予防対策のため、以下を推奨しています。

- マスクの着用
- 会場入場時の手指のアルコール消毒
- ご自宅での検温等の体調確認

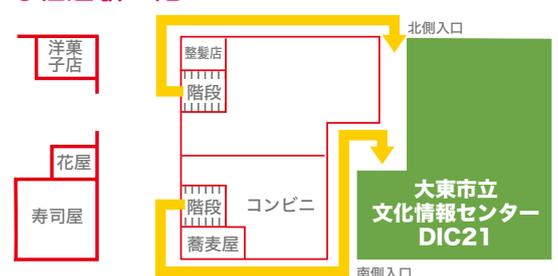
(当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。)



●住道駅 2階



●住道駅 1階



アクロス & DIC21
YouTube
チャンネル
道案内動画

※会場は生涯学習センターアクロスではなく、文化情報センター DIC21 です。